

⑧表面処理技術人材養成コース		受講料（税別）／人：275,000円（22日間） 300,000円（26日間） 325,000円（30日間）				
日数	教科名	教科の内容	22日間	26日間	26日間	30日間
1	開講式	訓練の意義	1	1	1	1
	社会人としての心構え	社会人としてのルール遵守、社会人の基本～あいさつ、お辞儀の種類、身だしなみ	7	7	7	7
2	職業能力基礎講習	ビジネスマナーとは、第一印象の重要性、ビジネスマナー5原則、名刺交換、電話対応	8	8	8	8
3		仕事の進め方、職務における報連相、コミュニケーションツール、ビジネス文書、ビジネスEメール	8	8	8	8
4		コミュニケーション、話す力、聴く力、合意の形成、クレーム対応	8	8	8	8
5		印象管理トレーニング、問題解決技法、セルフマネジメント、論理的構成、デリバリー技能	8	8	8	8
6	安全衛生	安全装置や保護具の用途と安全作業、労働災害の防止、健康管理、KYTによる危険予知	8	8	8	8
7	コンプライアンス	コンプライアンスの必要性、社内と社外の規範遵守、企業倫理と社会的規範、CSR(企業の社会的責任)、個人情報保護法	8	8	8	8
8	業務に必要な各種金属加工の知識	プレス加工材料知識、抜き加工、曲げ加工、絞り加工、金型の種類と特徴	8	8	8	8
9		溶接の原理・目的、基礎的な溶接方法、いろいろな材料の溶接	8	8	8	8
10		機械加工の種類理解、主要（旋盤、フライス盤）工作機械・操作法の学習	8	8	8	8
11	表面処理概論	表面処理の分類、各種表面処理、環境・衛生、有機溶剤対応・有害物質対応	8	8	8	8
12	めっき	めっきの分類（湿式・乾式・熔融）、被覆金属特徴（金、銀、銅、ニッケル、クロム、他）	8	8	8	8
13	塗装	塗装の目的、塗料の種類（溶剤型、水性、粉体）、前処理及び塗装方法、自動車外板塗装	8	8	8	8
14	熱処理技術の種類	金属材料の種類とその熱処理方法	8	8	8	8
15	熱処理の品質管理	熱処理品の不具合と品質管理方法	8	8	8	8
16	製図実習	図面の構成、立体を図面に表す方法、補助となる図法、寸法記入のルール、寸法公差、はめあい公差、幾何公差、表面粗さ、材料表示、溶接表示方法	8	8	8	8
17	品質管理・品質保証	品質管理の基本、品質保証の基本、品質のつくり込みと維持活動、品質改善の進め方	8	8	8	8
18	測定実習	ノギス、外側マイクロメーター、ハイトゲージ取り扱い及び各種測定技術	8	8	8	8
19	検査実習	検査の考え方と役割、外観検査、官能検査、限度見本、破壊検査と非破壊検査、加工の基本と検査、ISO9001とTS16949の概要	8	8	8	8
20	TPM（生産保全）	TPMの基礎知識、TPM活動と生産効率化、自主保全の7つのステップ	8	8	8	8
21	トヨタ生産方式	トヨタ生産方式の概要、ムダをつくらない仕組み、ムダをとる活動、改善体質づくり	8	8	8	8
22	自動化機械操作実習	産業用ロボットにまつわる知識の習得、ロボットの教示操作実習	8	8	8	8
23	フォークリフト学科	荷役に関する装置の構造及び取扱いの方法、力学、関係法令	—	8	—	8
24	フォークリフト実技	走行の操作①	—	8	—	8
25		走行の操作②	—	8	—	8
26		走行の操作③、荷役の操作	—	9	—	9
27	玉掛けクレーン学科	クレーン等の知識、玉掛けに必要な力学に関する知識、関係法令	—	—	8	8
28		クレーン等の玉掛けの方法	—	—	8	8
29	玉掛けクレーン実技	原動機及び電気に関する知識、クレーンの運転	—	—	8	8
30		クレーン等の運転のための合図、クレーン等の玉掛け	—	—	8	8
Off-JT（教育訓練期間）小計			176 時間	209 時間	208 時間	241 時間

※教科名の赤字は実技 ※日数の赤丸数字の教科はライブ配信受講希望者も対面受講になります。
 ※最低受講人数（10名）に満たない場合は開催を見合わせます。